2026年９月更新

2026年度助産学専攻科カリキュラムマップ

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

授業科目の名称	修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力			
	1)所定の単位数を修得していることのほか、演習や実習などへの主体的な参加、助産学研究のプロセスを通して、助産学専門職としての知識・技術・態度を身に付けている。 【助産実践力】	2)看護基礎教育を基盤に、助産師としての役割、責任を果たす能力と思いやりのある心を持った豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。 【倫理的感応力】	3)高度化する周産期医療に柔軟に対応し、地域社会の母子保健に寄与することができる。 【地域及び他職種連携力】	4)助産学専門職業人として、生涯にわたり自己の資質の向上に努めることができる。 【専門的自律能力】
助産学概論	◎	◎	○	◎
性と生殖の形態機能	◎	○	○	○
生殖医療と生命倫理	◎	◎	○	○
周産期医学	◎	○	○	○
新生児・乳幼児学	◎	○	○	○
家族と社会	◎	○	◎	○
助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）	◎	○	○	○
助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	◎	○	○	○
助産診断・技術学Ⅲ（産褥期）	◎	○	○	○
助産診断・技術学Ⅳ（新生児期）	◎	○	○	○
地域母子保健	◎	○	◎	○
ウィメンズヘルス	◎	◎	◎	○
健康教育	◎	○	◎	○
助産管理	◎	◎	○	○
周産期ハイリスクケア論	◎	○	○	○
助産学実習Ⅰ（妊娠期）	◎	◎	○	○
助産学実習Ⅱ（助産過程）	◎	◎	○	○
助産学実習Ⅲ（健康教育）	◎	◎	○	○
助産学実習Ⅳ（助産所）	◎	◎	○	○
助産学研究	◎	◎	○	◎
親子関係発達論	◎	◎	○	◎
統合ヘルスケア	◎	◎	○	◎